

**令和5年度  
全国学力・学習状況調査  
調査結果の概要**

令和5年度全国学力・学習状況調査の調査結果の概要について

1 調査の概要

- (1) 実施日 令和5年4月18日(火)
- (2) 調査対象 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒
- (3) 調査内容

○ 教科に関する調査 小学校(国語、算数) 中学校(国語、数学、英語)

調査問題では、下記①と②を一体的に問うこととする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

出題形式については、国語及び算数・数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

○ 質問紙調査

- ・児童生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

(4) 参加状況(全国で公立小学校18,641校、公立中学校9,369校が4月18日に調査を実施)

○ 本県(公立)

	参加校
小学校	180
中学校	93
義務教育学校(前期課程)	7
義務教育学校(後期課程)	7
特別支援学校(小学部)	1
特別支援学校(中学部)	2

2 教科に関する調査結果の概要

国語、算数・数学、英語の全国、奈良県は公立の結果を示しています。

(上段:平均正答数 下段:平均正答率(%))

	令和5年度						
	国語		算数・数学		英語		英語「話すこと」 全国(全国値)
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	
小学校	9.4/14 67.2	9.0/14 65	10.0/16 62.5	9.9/16 62			
中学校	10.5/15 69.8	10.0/15 67	7.6/15 51.0	7.4/15 50	7.7/17 45.6	7.6/17 45	0.6/5 12.4

※英語調査の結果は、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の合計を集計し示しています。また、「話すこと」調査の結果は、当日実施校の結果から推定される全国値(国公私立)を公表することとし、都道府県別、指定都市別の公表を行わないため、奈良県の結果は示していません。

	令和4年度				平成31年度		
	国語		算数・数学		英語		英語「話すこと」 全国(参考値)
	全国	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	
小学校	9.2/14 65.6	8.9/14 63	10.1/16 63.2	10.0/16 62			
中学校	9.7/14 69.0	9.5/14 68	7.2/14 51.4	7.0/14 50	11.8/21 56.0	11.7/21 56	1.5/5 30.8

※英語調査の結果は、「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の合計を集計し示しています。「話すこと」調査の結果は、全国の平均正答数及び平均正答率を別に集計して参考値(国公私立)を公表することとし、都道府県別、指定都市別の公表を行わないため、奈良県の結果は示していません。

※国からの各都道府県の平均正答率の提供が整数値となったため、平成29年度から奈良県の平均正答率は整数値で示しています。

小学校においては、

国語の調査において、全国平均正答数を0.4ポイント下回っている。

算数の調査において、全国平均正答数を0.1ポイント下回っている。

中学校においては、

国語の調査において、全国平均正答数を0.5ポイント下回っている。

数学の調査において、全国平均正答数を0.2ポイント下回っている。

英語の調査において、全国平均正答数を0.1ポイント下回っている。

文部科学省によると、各教科の課題として、例えば、以下のようなものが挙げられている。

- 複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり書き表し方を工夫したりすることに課題がある。(小学校国語) (「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題」全国公立平均26.7%、奈良県公立平均24.3%)
- 図形を構成する要素などに着目して、図形の性質や計量について考察することに課題がある。(小学校算数) (「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題」全国公立平均20.8%、奈良県公立平均22.5%)
- 情報と情報との関係について理解することに課題がある。(中学校国語) (「意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる問題」全国公立平均65.1%、奈良県公立平均63.1%)
- 問題解決の過程や結果を振り返って考察することに課題がある。(中学校数学) (「結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見いだし、説明することができるかどうかをみる問題」全国公立平均40.9%、奈良県公立平均39.4%)
- 日常的な話題に関する文章の概要を捉えたり、社会的な話題について自分の考えや理由を表現したりすることに課題がある。(中学校英語) (「日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる問題」全国公立平均34.7%、奈良県公立平均33.9%、「社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる問題」全国公立平均19.5%、奈良県公立平均17.6%)

### 3 質問紙調査について

文部科学省によると、全国の調査結果を、以下のように分析している。

**主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況**

- 児童生徒質問紙調査において、主体的・対話的で深い学びに取り組んでいる児童生徒の方が、各教科の平均正答率が高い傾向が見られた。(「授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたか」奈良県：小学校61.9%、中学校57.2%、「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」奈良県：小学校76.5%、中学校72.9%、「授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたか」奈良県：小学校68.2%、中学校55.1%)

**英語の学習状況**

- 授業において言語活動に取り組んでいると受け止めている中学校生徒の方が、英語の平均正答率が高い傾向が見られた。

**ICTを活用した学習状況**

- 学校質問紙調査において、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行っている学校ほど、ICT機器を活用している傾向が見られた。

**児童生徒の挑戦心、自己有用感、幸福感等に関する状況**

- 「友達関係に満足しているか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」との質問に対して、約90%の児童生徒が肯定的に回答している。(「友達関係に満足しているか」奈良

県：小学校90.5%、中学校88.6%、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか」奈良県：小学校91.0%、中学校87.4%）

#### 4 今後の本県での取組

- ・全国学力・学習状況調査の結果を活用した指導改善について、8月下旬に市町村教育委員会教育長を対象に、9月に市町村教育委員会担当者を対象に説明会を実施する。
- ・全国学力・学習状況調査の結果を活用した指導改善について、10月に義務教育諸学校教員を対象に、大学教授等の有識者による講演を含めた説明会を実施する。
- ・県内小・中学校17校において取り組んでいる「学ぶ力育成実践事業」について、2月に研究成果等の報告会を実施する。
- ・教科等研究会と連携し、教員等の指導力向上に資する研修会等を実施する。

## ○ 小学校国語の調査結果

国語については、全国の平均正答数は14問中9.4問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.4ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・複数の情報を整理して自分の考えをまとめたり書き表し方を工夫したりすること。

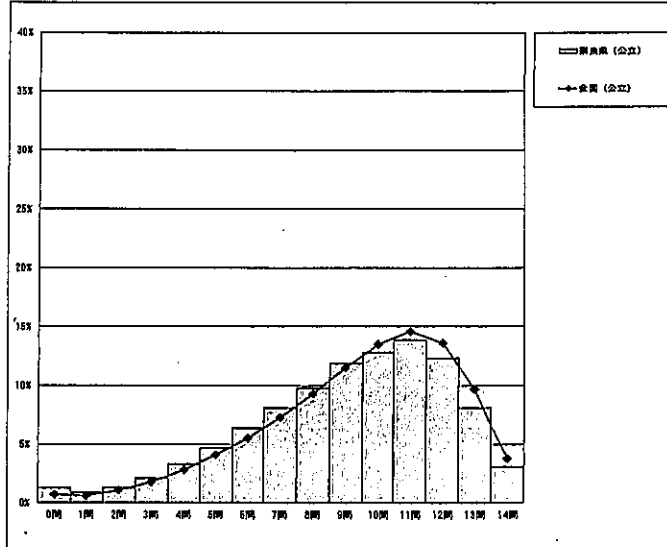
令和5年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 【国語】  
奈良県一見学（公立）

小学校国語

以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
奈良県(公立)	10,042	9.0 / 14	66	10.0	3.1
全国(公立)	904,177	9.4 / 14	67.2	10.0	3.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



正答数	正答数集計値	
	児童数 (公立)	割合(%) (公立)
14問	314	3.1
13問	815	8.1
12問	1,292	12.9
11問	1,398	13.9
10問	1,281	12.8
9問	1,191	11.9
8問	986	9.8
7問	818	8.1
6問	846	8.4
5問	478	4.7
4問	328	3.3
3問	208	2.1
2問	132	1.3
1問	94	0.9
0問	129	1.3

※今回の調査での百分位は以下の通りでした。

	奈良県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3百分位	11.0問	12.0問
◇ 第2百分位	10.0問	10.0問
▽ 第1百分位	7.0問	6.0問

## ○ 小学校算数の調査結果

算数については、全国の平均正答数は16問中10.0問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.1ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・図形を構成する要素などに着目して、図形の性質や計量について考察すること。

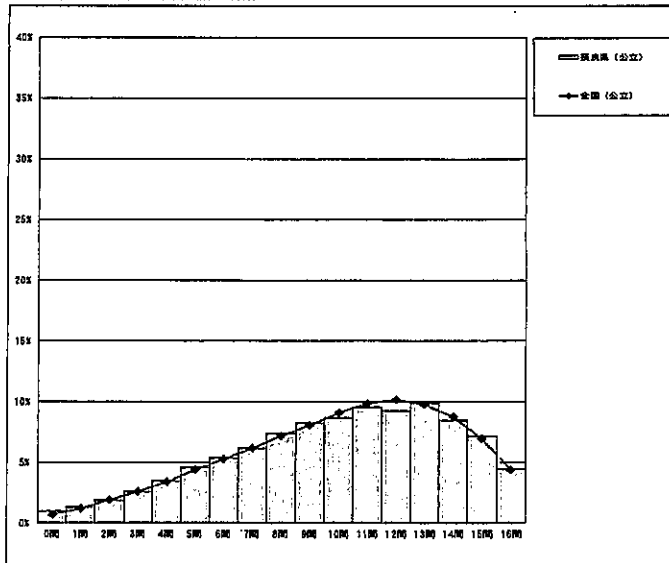
令和5年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況 【算数】  
奈良県一見学（公立）

小学校算数

以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
奈良県(公立)	10,031	9.9 / 16	62	10.0	3.9
全国(公立)	904,950	10.0 / 16	62.5	11.0	3.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



正答数	正答数集計値	
	児童数 (公立)	割合(%) (公立)
16問	451	4.5
15問	718	7.2
14問	851	8.5
13問	891	8.9
12問	937	9.3
11問	967	9.6
10問	872	8.7
9問	831	8.3
8問	746	7.4
7問	624	6.2
6問	544	5.4
5問	466	4.6
4問	351	3.5
3問	265	2.6
2問	190	1.9
1問	128	1.3
0問	101	1.0

※今回の調査での百分位は以下の通りでした。

	奈良県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3百分位	13.0問	13.0問
◇ 第2百分位	10.0問	11.0問
▽ 第1百分位	7.0問	7.0問

# ○ 中学校国語の調査結果

国語については、全国の平均正答数は15問中10.5問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.5ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・情報と情報との関係について理解すること。

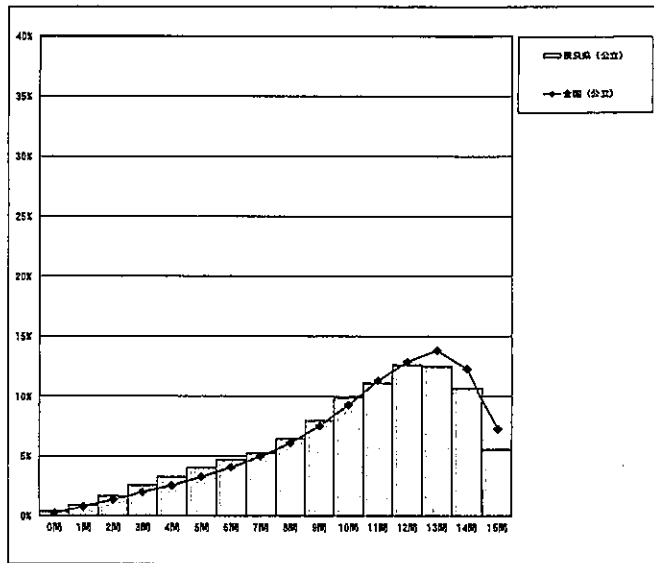
令和5年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況【国語】  
奈良県 生徒（公立）

中学校国語

以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
奈良県(公立)	9,110	10.0 / 15	67	11.0	3.5
全国(公立)	222,728	10.5 / 15	69.8	11.0	3.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数	割合(%)	
	奈良県(公立)	全国(公立)
15問	5.6	7.3
14問	10.7	12.3
13問	12.5	13.8
12問	12.6	12.9
11問	11.1	11.3
10問	9.9	9.8
9問	8.0	7.6
8問	6.6	6.1
7問	5.3	5.0
6問	4.7	4.1
5問	4.1	3.3
4問	3.3	2.6
3問	2.6	2.0
2問	1.7	1.4
1問	0.9	0.8
0問	0.4	0.3

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	奈良県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	13.0問	13.0問
◇ 第2四分位	11.0問	11.0問
▽ 第1四分位	8.0問	8.0問

# ○ 中学校数学の調査結果

数学については、全国の平均正答数は15問中7.6問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.2ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

- ・問題解決の過程や結果を振り返って考察すること。

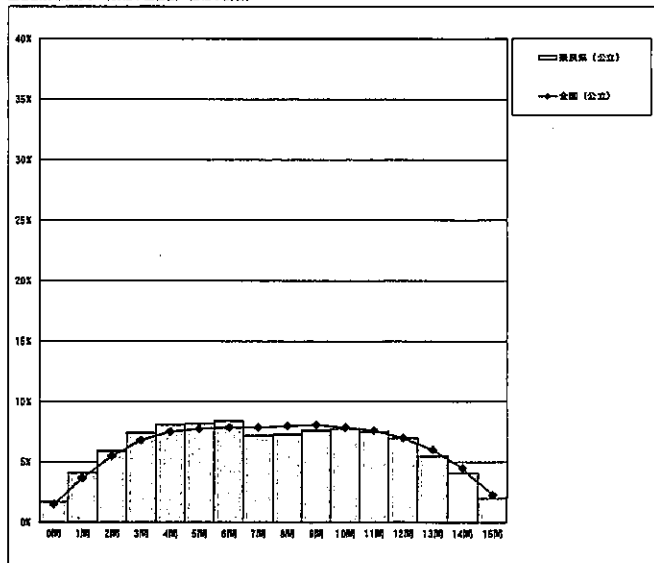
令和5年度全国学力・学習状況調査  
調査結果概況【数学】  
奈良県 生徒（公立）

中学校数学

以下の集計値/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
奈良県(公立)	9,125	7.4 / 15	50	7.0	3.9
全国(公立)	222,114	7.6 / 15	51.0	8.0	3.9

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数	割合(%)	
	奈良県(公立)	全国(公立)
15問	1.7	2.0
14問	3.7	4.6
13問	5.0	6.0
12問	6.4	7.0
11問	6.6	7.6
10問	7.1	7.9
9問	6.8	8.1
8問	6.6	8.0
7問	6.6	7.9
6問	7.6	7.9
5問	7.4	7.8
4問	7.4	7.5
3問	6.7	6.8
2問	5.8	5.6
1問	3.7	3.7
0問	1.7	1.5

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	奈良県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	7.0問	8.0問
▽ 第1四分位	4.0問	4.0問

# ○ 中学校英語の調査結果

英語については、全国の平均正答数は17問中7.7問で、本県の平均正答数は、全国と比べて0.1ポイント下回っている。

文部科学省では、例えば次のような課題が見られたとしている。

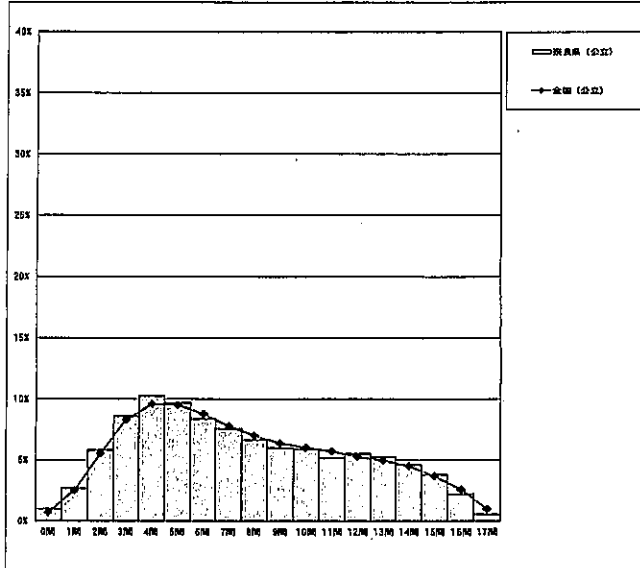
- ・ 日常的な話題に関する文章の概要を捉えたり、社会的な話題について自分の考えや理由を表現したりすること。

令和4年度全国学力・学習状況調査 調査結果概況【英語】  
 公立校・生徒（公立）

以下の集計表/グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、生徒を別数として集計した図である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
奈良県 (公立)	9,130	7.6 / 17	45	7.0	4.2
全国 (合計)	929,529	7.7 / 17	45.6	7.0	4.2

正答数分布グラフ (横軸: 正答数 縦軸: 割合)



正答数	割合 (%)	
	奈良県 (公立)	全国 (合計)
17問	5.8	1.0
16問	2.9	2.6
15問	3.6	3.7
14問	4.6	4.6
13問	4.8	5.0
12問	4.9	5.3
11問	4.7	5.7
10問	5.4	6.0
9問	5.4	6.4
8問	6.1	7.0
7問	6.9	7.8
6問	7.7	8.8
5問	8.8	9.6
4問	9.4	9.6
3問	7.7	8.3
2問	5.2	6.6
1問	2.4	2.5
0問	0.0	0.7

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	奈良県 (公立)	全国 (合計)
△ 第3四分位	11.0問	11.0問
◇ 第2四分位	7.0問	7.0問
▽ 第1四分位	4.0問	4.0問



## 児童生徒質問紙調査の結果 (抜粋)

前回調査より上昇

### ○主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

質問		奈良県	全国	差	県R04	県R03	県H31	県H30
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、 <b>資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた</b> (発表していた、どちらかといえば発表していた)	小	61.9	63.7	-1.8	63.1	59.7	59.0	56.1
	中	57.2	62.1	-4.9	56.6	52.7	45.1	42.9
授業では、課題の解決に向けて、 <b>自分で考え、自分から取り組んでいた</b> (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	76.5	78.8	-2.3	73.4	75.3	74.3	72.1
	中	72.9	79.2	-6.3	72.5	76.4	69.3	66.6
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、 <b>自分の考えをまとめる活動を行っていた</b> (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	68.2	74.4	-6.2	65.1	-	-	-
	中	55.1	69.1	-14.0	52.0	-	-	-
授業は、 <b>自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた</b> (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	80.6	82.9	-2.3	77.2	78.6	-	-
	中	71.7	74.9	-3.2	71.0	71.4	-	-
学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、 <b>自分の考えを深めたり、広げたりすることができている</b> (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	80.5	81.8	-1.3	76.9	76.8	72.3	75.9
	中	72.4	79.7	-7.3	69.2	67.3	64.1	67.2
学習した内容について分かった点や、よく分からなかった点を見直し、 <b>次の学習につなげることができている</b> (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	75.3	77.4	-2.1	75.5	74.7	-	-
	中	64.5	69.2	-4.7	66.9	68.2	-	-
授業で学んだことを、 <b>ほかの学習で生かしている</b> (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	78.9	81.9	-3.0	-	-	-	-
	中	64.1	69.9	-5.8	-	-	-	-

### ○英語の学習状況

質問		奈良県	全国	差	県R04	県R03	県H31	県H30
授業では、 <b>英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた</b> (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	中	71.7	78.2	-6.5	-	-	73.5	-
授業では、 <b>英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた</b> (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	中	73.9	80.3	-6.4	-	-	76.0	-
授業では、 <b>自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか</b> (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	中	72.6	82.8	-10.2	-	-	69.3	-



○ICTを活用した学習状況

質問		奈良県	全国	差	県R04	県R03	県H31	県H30
前学年までに受けた授業で、ICT機器をどの程度使用しましたか (ほぼ毎日、週3回以上、週1回以上)	小	87.9	86.3	1.6	84.5	54.4	24.2	—
	中	84.5	87.5	-3.0	74.8	39.0	31.3	—
学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか (役に立つと思う、どちらかといえば、役に立つと思う)	小	95.0	95.1	-0.1	94.5	94.2	—	—
	中	92.0	93.3	-1.3	90.9	90.1	—	—

○挑戦心、自己有用感、幸福感等に関する状況

質問		奈良県	全国	差	県R04	県R03	県H31	県H30
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	89.8	89.8	0.0	87.3	—	—	—
	中	85.4	87.3	-1.9	83.2	—	—	—
困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	67.1	68.5	-1.4	65.9	—	—	—
	中	63.0	66.4	-3.4	62.6	—	—	—
自分には、よいところがあると思う (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	83.0	83.5	-0.5	77.9	74.4	79.8	82.6
	中	77.9	80.0	-2.1	73.5	71.6	71.2	75.4
将来の夢や目標を持っている (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	79.7	81.5	-1.8	78.5	78.7	83.5	84.1
	中	62.6	66.3	-3.7	65.7	64.5	68.8	70.3
人が困っているときは、進んで助けている (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	91.2	91.6	-0.4	88.6	87.9	87.7	—
	中	86.4	88.1	-1.7	86.8	86.3	82.9	—
人の役に立つ人間になりたい (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	96.1	95.9	0.2	95.7	95.7	96.0	95.7
	中	93.8	94.6	-0.8	94.6	93.9	93.6	93.7
自分と違う意見について考えるのは楽しい (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	74.5	76.5	-2.0	70.3	66.9	—	—
	中	73.3	77.6	-4.3	70.6	68.6	—	—
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	92.6	93.0	-0.4	—	—	—	—
	中	86.0	88.9	-2.9	—	—	—	—
友達関係に満足している (当てはまる、どちらかといえば当てはまる)	小	90.5	90.3	0.2	—	—	—	—
	中	88.6	88.7	-0.1	—	—	—	—
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある (よくある、ときどきある)	小	91.0	91.0	0.0	—	—	—	—
	中	87.4	86.8	0.6	—	—	—	—



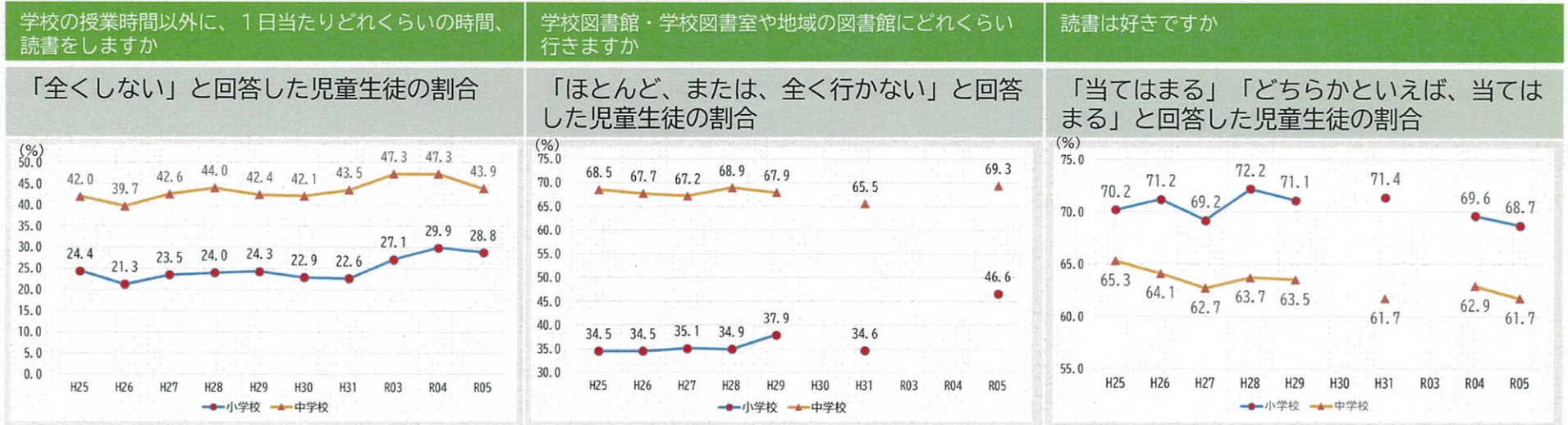
○読書に関する状況

質問		奈良県	全国	差	県R04	県R03	県H31	県H30
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） （全くしない）	小	28.8	24.5	4.3	29.9	27.1	22.6	22.9
	中	43.9	36.8	7.1	47.3	47.3	43.5	42.1
昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書館を含む）にどれくらい行きますか （ほとんど、または、全く行かない）	小	46.6	40.9	5.7	-	-	34.6	-
	中	69.3	59.8	9.5	-	-	65.5	-
読書は好きですか （当てはまる、どちらかといえば当てはまる）	小	68.7	71.8	-3.1	69.6	-	71.4	-
	中	61.7	66.0	-4.3	62.9	-	61.7	-



# 児童生徒の読書に関する状況 ～令和5年度全国学力・学習状況調査の結果より～

## 1 児童生徒の読書に関する状況の経年変化

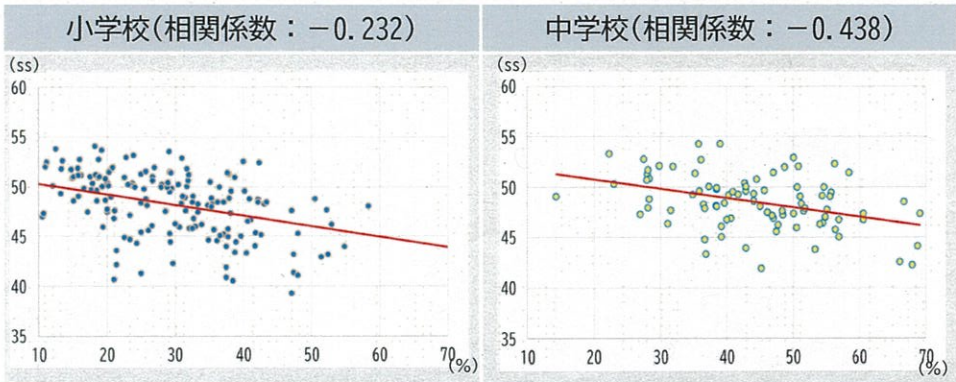


- 普段全く読書をしていない児童生徒の割合は、10年前よりそれぞれ小学校4.4ポイント、中学校1.9ポイント上昇している。
- 学校図書室や図書館に行かない児童生徒の割合は、10年前より小学校12.1ポイント、中学校0.8ポイント上昇している。
- 「読書は好きですか」の質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、10年前よりそれぞれ小学校1.5ポイント、中学校3.6ポイント下降している。

## 2 児童生徒の読書に関する状況と学力(国語)の相関について

読書に関する3つの質問項目に関する各学校の児童生徒の回答の割合と国語の平均正答率について相関係数を調べた。

各学校の読書を全くしないと回答した児童生徒の割合（以下、「不読率」という）と国語の平均正答率との相関関係



○ 不読率と国語の平均正答率については、小・中学校ともに弱い負の相関が見られた。

## 3 市町村の不読率の改善状況

各市町村の令和4年度と令和5年度の不読率を比較し、改善状況を調べた。

小学校		中学校	
不読率	市町村数	不読率	市町村数
改善した	20	改善した	21
改善しなかった	17	改善しなかった	13

※令和4年度、令和5年度調査を実施できなかった市町村（小学校調査：2市町村、中学校調査：4市町村）

### 小・中学校ともに不読率が改善した2市の取組例

- 電子図書館システムの活用
- 学校司書の配置や図書館ボランティアの活用
- 学級や学校図書館への新聞配備
- 市立図書館と連携した読書活動の推進 等

○ 今後、県内市町村の不読率の経年の変化と各市町村の取組等を調査し、不読率改善に資する好事例等を周知していきたい。